

□□■-----
□■-----

広島校だより(2018年12月号)

-----Vol. 147/2018. 12. 6-----■□
-----■□□

中小企業大学校広島校メルマガ担当の仁藤(にとう)です。
広島校だより12月号をお送りさせていただきます。どうぞご覧ください。

中小企業大学校広島校ホームページ
<http://www.smrj.go.jp/institute/hiroshima/>

■ INDEX ■

- ◆1- NEWS ~ 広島校からのお知らせ ~
- ◆2- 広島校研修のご案内(2019年1月開講)
- ◆3- コラム
- ◆4- その他のご案内

=====
■ 1. NEWS ~ 広島校からのお知らせ ~
=====

★

■ あなたの街で中小企業大学校の研修を！サテライト・ゼミのご案内

中小企業大学校では今年度より、各地の中小企業支援機関等と連携して、「サテライト・ゼミ」(校外研修)を実施しています。

広島校では2019年1月に、下記2コースのサテライト・ゼミを開講します。

◆[18-47] 成果を上げる営業交渉術 in 津山【岡山県津山市】

日時：2019年1月9日(水)、1月16日(水)、1月21日(月) <3日間>
会場：津山市地域交流センター

申込・詳細ページ

<http://www.smrj.go.jp/institute/hiroshima/training/sme/2018/frr94k000004qydi.html>

☆助成制度が利用できます(津山市内の企業に限る)

<http://www.tsuyama-biz.jp/post-support/125/>

◆[18-48] 生産性向上と人手不足解決！【山口県下関市】

日時：2019年1月23日(水)、1月30日(水)、2月13日(水) <3日間>
会場：創業支援カフェ KARASTA.

申込・詳細ページ

<http://www.smrj.go.jp/institute/hiroshima/training/sme/2018/frr94k000004m31w.html>

☆助成制度が利用できます（下関市内の企業に限る）

<http://www.city.shimonoseki.lg.jp/www/contents/1467788539564/index.html>

※開催地域以外の企業の方も受講も可能です。皆様のお申し込みをお待ちしております。

=====
■ 2. 広島校研修のご案内（2019年1月開講）
=====

★-----
2019年1月28日(月)～1月30日(水) <3日間>

[18-36] 採用難に対応する人材確保 IT活用講座
<http://www.smrj.go.jp/institute/hiroshima/training/sme/2018/frr94k000004lyu9.html>

【研修の概要】
人手不足対応の考え方や、人材確保を行う際の自社のアピールポイントの
見つけ方、人材確保のためのIT活用方法について学びます。

★-----
2019年1月29日(火)～1月31日(木) <3日間>

[18-37] 売れる！新商品・新サービスの作り方
<http://www.smrj.go.jp/institute/hiroshima/training/sme/2018/frr94k000000eq5h.html>

【研修の概要】
商品開発手法の1つである“デザイン思考”について演習を交えて習得し、
さらに実際の開発事例から理解を深め、自社の新商品開発に活かします。

★-----
■その他の広島校研修情報はこちらをご覧ください。
<http://www.smrj.go.jp/institute/hiroshima/training/sme/2018/index.html>

=====
■ 3. コラム
=====

「金融機関の知的財産」

中小企業は、日本の産業競争力やイノベーションの源泉であり、地域経済にとっても重要な存在である。当方もテレビ取材や政策事業を進める現場からその通りだと考えている。

地域中小企業が事業を発展させていく上で、現在政策として進められている「知財金融」事業に注目したい。金融機関をうまく活用することが、これからの経営を安定させ、新規事業、新規顧客の開拓拡大につながる重要な手段となり得る。

しかしながら、金融機関の知財の観点を踏まえた支援はまだこれからの状況にある。

平成27年から開始された中小企業知財金融促進事業の報告によれば、知財金融が目指す姿は、地域金融機関が中小企業の知恵や工夫を中心とした経営資源を、知財に着目して理解した上で、事業や経営の支援を行うこと、これこ

そが、「知財金融」の目指す姿である、としている。

これは中小企業の事業実態や将来の成長可能性等についての理解を深め、営業、融資、本業支援等を行う支援施策として実施しているが、より具体的な体制構築や手法などの確立を要している。

地域金融機関は事業性評価のために、市場環境や商流、当該企業の経営資源等、定性情報の把握までは、通常業務として行っている。地域金融機関は中小企業の経営資源の中で重要な部分を占める技術や知財について十分な理解をしているはずなのに、なぜか有効な指標となる知財に注目した熱血経理マンが出てこない、というのが小生の見方である。

そもそも地域金融機関は企業の財務状況はもちろんのこと、市場環境や商流など取引先企業の経営資源を詳しく知る立場にある。最も重要で着目すべき経営資源は、技術、ノウハウ等の知恵や工夫。ここをどう探り当て、顕在化してビジネスにつなげ、必要な資金を提供するか。いまこそ金融機関はもっと中小企業の技術や知財について理解する姿勢を示し、自社の事業を理解した上で経営上の相談に乗っていくことが必要とされている。

「売上の源泉となっている強み」、「将来の成長を支える製品競争力」、「製品競争力の根拠となる開発体制・権利」を理解する有効な手段

このような技術やノウハウといった経営資源が重要であることは全ての中小企業・小規模事業者に当てはまり、製造業はもちろん、小売業やサービス業等も含めて知財活動を行うことは有効である。

知財金融の取り組み自体は広がってきている。

地域経済の発展に取って極めて重要な役割を果たす地域金融機関が、事業性評価の取り組みを一層進めていくためには、取引先企業の経営資源に着目し、課題の解決を通じた事業支援を行っていくことが強く求められている。

そのため、全ての地域銀行が知財金融に取り組むことが望ましく、店舗営業員が使用する知財ビジネス評価書が用いられるようになった。

知財評価ビジネス書は以下のような観点で作成されている。

1. 強み (S) こだわり、ノウハウから商品 PR ポイントの再発見
⇒強みの活用 商品 PR ポイントの再発見後の販路マッチング、商談会設定
2. 弱み (W) 人材不足に対する委託生産、技能承継におけるノウハウ洗い出し
⇒弱みの補強 知財支援機関との連携 (例：知財総合支援窓口)
3. 機会 (O) 事業承継、下請脱却における既存技術を用いた新事業開発
⇒機会の獲得 事業承継、M&A、産学連携、知財支援機関との連携
4. 脅威 (T) 他者の権利侵害による訴訟・差止リスクの回避
⇒脅威の回避 知財支援機関との連携、専門家紹介 (例：中小機構経営相談)

地域における中小企業・小規模事業者の有効なソリューションとして、知財金融の取り組みは適切な知財活動につながることを期待される。このような評価書に基づいた支援には大いに期待したい。そして、営業・開発の視点で異業種企業との接点をもつために、今まで以上に金融機関と中小企業のリソースを確認し、地域の経済発展に向けて知恵を出し合いたい。

そのためには金融機関はもっと取引先をよくするためのビジネスプロデュースの視点が必要だと考える。そこには中小企業が興味を引く話題がなければならない。最近になって大企業が特許を開放しその技術の活用やビジネス連携を深める動きが活発になっている。技術移転を金融機関とともに進めていくことは中小企業のビジネスには有効に働くだらう。

知的財産は自社の商標(ブランド)や技術、ビジネスアイデアを組合せ、市場に受け入れられる事業や商品を展開していく力となる。そのための備えとして、また自社商品のシェアと利益率向上のために、知的財産権活用は重要といえる。

地域金融機関とともに特許庁、工業所有権情報・研修館が開発した「グローバルマネジメント人材育成教材」と中国経済産業局が制作した「もうけの花道」の活用をお勧めしたい。

「グローバルマネジメント人材育成教材」

http://www.inpit.go.jp/jinzai/global/global_material.html

「もうけの花道」

<http://www.chugoku.meti.go.jp/ip/>

ビジネスは知財と共に。

中小機構中国本部 チーフアドバイザー（知財担当）桑原良弘

=====
■ 4. 其他のご案内
=====

★

■ 中小機構中国本部からのお知らせ

【経営アドバイス・窓口相談】

経営上の課題を相談できるアドバイスコーナーを中小機構中国本部と岡山
大インキュベータに設け、経験豊富な専門家が相談に応じています。

http://www.smrj.go.jp/regional_hq/chugoku/sme/consulting/index.html

【海外ビジネス定期相談会】

中小企業の皆様の海外ビジネスに関するお悩みについて相談できる相談会
を開催します。12月の相談会は次のとおりです。

12月10日(月) 中小機構中国本部(広島) 製造業(事業企画等)
12月18日(火) 中小機構中国本部(広島) 海外向けEC
12月25日(火) 中小機構中国本部(広島) 製造業(アジア・欧米)
12月26日(水) 岡山大学インキュベータ 製造業(アジア・欧米)

http://www.smrj.go.jp/regional_hq/chugoku/sme/overseas_consulting/index.html

★

■ 広島市産業振興センターからのお知らせ

【「最高のおもてなし術」受講者募集】

～ANA・ディズニーから学ぶ接客の本質～
ビジネスにおいて欠かすことのできない接客の極意について学びます。

◆日時：2019年1月22日(火) 13:30～16:30

◆会場：合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市中区袋町6-36）

◆講師：桑野 麻衣 氏

申込・詳細ページ

<http://www.assist.ipc.city.hiroshima.jp/seminar/post-59.html>

【「創業アカデミー2」～起業の成功確率を高める事業計画の作り方～】

創業のために必要な事業計画（事業概要、商品計画、利益計画、資金計画等）の作成について講義と演習を行います。

◆対象：これから創業しようとする人

◆日時：2019年1月20日、1月27日、2月3日、2月17日
（全4回・いずれも9:30～16:30）

◆会場：広島市立中央図書館3階セミナー室（広島市中区基町3-1）

◆講師：西原 裕 氏（株式会社創研）
岡崎 美紀子 氏（株式会社カエルカンパニー）
橋口 貴志 氏（橋口司法書士事務所）
日本政策金融公庫職員

詳細・申込ページ

<http://www.assist.ipc.city.hiroshima.jp/seminar/post-58.html>

<お問い合わせ先>

公益財団法人広島市産業振興センター（中小企業支援センター）
TEL：082-278-8032 E-mail：assist@ipc.city.hiroshima.jp

=====

■「広島校だより」の配信解除・お問い合わせはこちらからお願いします。
<http://www.smrj.go.jp/institute/hiroshima/contact.html>

編集・発行：中小企業大学校 広島校
〒733-0834 広島県広島市西区草津新町1-21-5
TEL 082-278-4955 FAX 082-278-7201
